「県立高校改革推進プラン・第2次実施プログラム（案）」に関する説明会

令和7年6月26日

千葉県教育委員会

1

本日の構成

第Ⅰ部

これまでの県立高校改革と

「県立高校改革推進プラン・ 第2次実施プログラム（案）」

第Ⅱ部

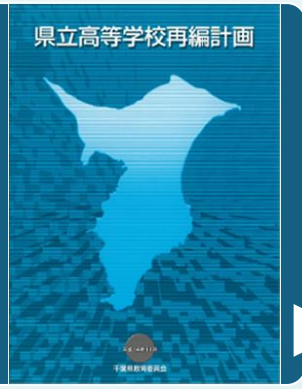
沼南高校と沼南高柳高校について

2

第Ⅰ部

これまでの県立高校改革と
「県立高校改革推進プラン・第2次実施プログラム(案)」

H14▲H23



H24▲R3

R4▲R13

3

計画・プラン と 実施プログラム

計画・プラン	計画期間内の基本的な考え方 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
実施プログラム	1次実施プログラム ○年度 A高校で ■学科を設置 ×年度 B高校で ▲に関する学びを導入 2次実施プログラム □年度 C高校とD高校を統合 使用校舎は… ◎年度 E高校を ～～に指定 …次実施プログラム … …

4

県立高校改革推進プラン

計画期間内の基本的な考え方

R4 R5 R6 **R7** R8 R9 R10 R11 R12 R13

実施プログラム

- 第1次実施プログラム
  - 12項目
  - 18校
- **第2次実施プログラム(案)**
  - 9項目
  - 15校

5

県立高校改革推進プラン
第2次実施プログラム(案)

6

第２次実施プログラム（案）が目指す方向性

1 県南部や東部の小規模校の活性化と地域を支える人材の育成
2 水産系高校の学びの魅力化
3 工業系学科の学びの魅力化
4 少子化への対応と多様なニーズに応える新しい学校づくり
5 進学指導重点校の更なる充実

7

1 県南部や東部の小規模校の活性化と地域を支える人材の育成

対象校	実施年度
多古・市原	令和9年度

地域連携協働校に指定

地域と連携した取組の推進
ICT機器を活用した学校間の遠隔授業を実施するなど、小規模校での教育活動の充実を図る

地域社会に関する学びの導入

多古:空港関連人材の育成　市原:探究学習を通じた地域人材の育成

8

2　水産系高校の学びの魅力化

対象校	実施年度
銚子商業・大原・館山総合	令和9年度

地域性を生かした学びの充実

銚子商業：洋上風力発電　　大原：栽培漁業、マリンレジャー　　館山総合：沿岸漁業

専攻科の廃止（R12）、大型実習船の見直し

県内遠隔地からの生徒受入体制の検討

地元市等と連携し、県内遠隔地からの生徒募集に係る受入体制づくりを検討

9

3　工業系学科の学びの魅力化

対象校	実施年度
東総工業・茂原樟陽	令和9年度

工業系学科の再構成

東総工業	4学科（電子機械・電気・情報技術・建設）を3学科に再構成
茂原樟陽	3学科（電子機械・電気・環境化学）を2学科に再構成

実習設備の更新、新しい学科名の検討

工業教育の充実

県内の工業系高校に、企業と連携したデュアルシステムを導入

10

第２次実施プログラム（案）が目指す方向性

1 県南部や東部の小規模校の活性化と地域を支える人材の育成
2 水産系高校の学びの魅力化
3 工業系学科の学びの魅力化
4 少子化への対応と多様なニーズに応える新しい学校づくり
5 進学指導重点校の更なる充実

11

5 進学指導重点校の更なる充実

対象校	実施年度
柏・佐原	令和9年度

単位制の導入
進学指導重点校のうち単位制未導入の2校へ導入、進学実績の更なる向上を図る

理数教育の充実
先進企業や研究機関、大学等との連携を通じ、理数教育の充実を図る

12

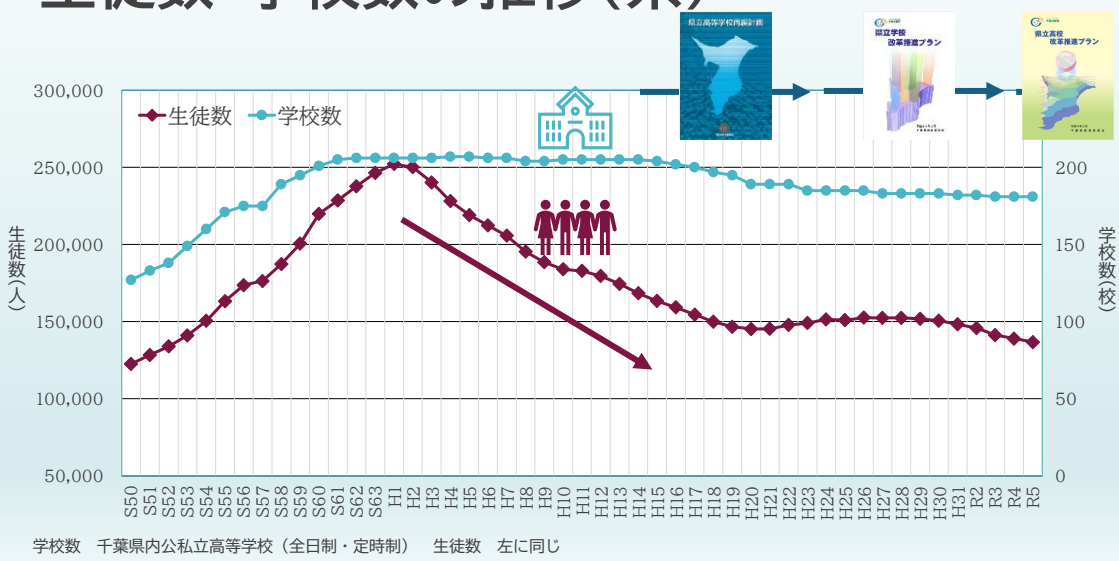
４　少子化への対応と多様なニーズに応える新しい学校づくり

対象校	実施年度
八千代東・八千代西 船橋豊富・船橋北 沼南・沼南高柳	令和10年度

3組6校の統合を実施
学びの魅力化の推進

13

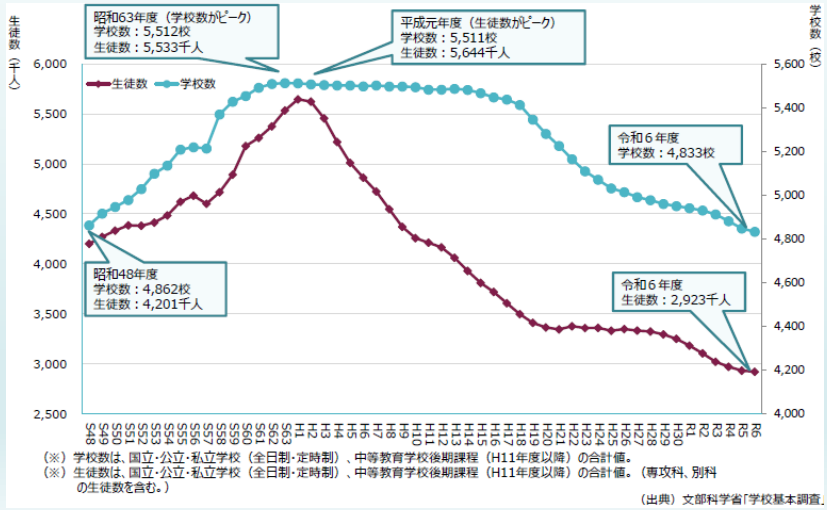
生徒数・学校数の推移（県）



学校数　千葉県内公私立高等学校（全日制・定時制）　生徒数　左に同じ

14

生徒数・学校数の推移（全国）



（※）学校数は、国立・公立・私立学校（全日制・定時制）、中等教育学校後期課程（H11年度以降）の合計値。
（※）生徒数は、国立・公立・私立学校（全日制・定時制）、中等教育学校後期課程（H11年度以降）の合計値。（専攻科、別科の生徒数を含む。）

（出典）文部科学省「学校基本調査」

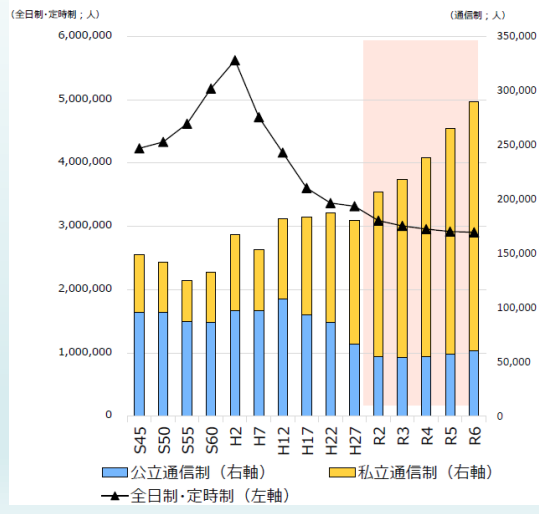
−679校

−272.1万人

【出典】高等学校教育の在り方ワーキンググループ審議まとめ　参考資料（文部科学省）　※アイコン、減少数は教育政策課が追加

15

通信制の在籍者増加（全国）



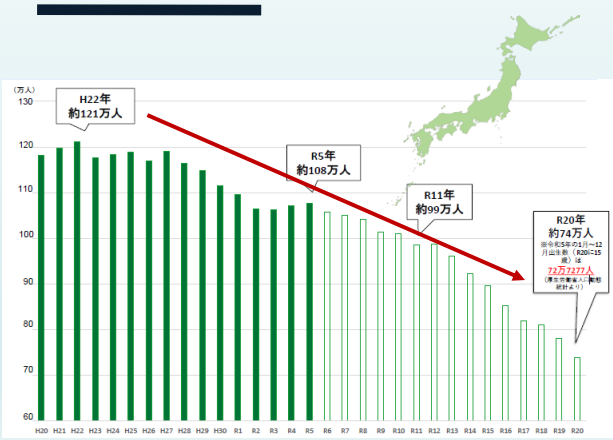
私立通信制
約23万人

公立通信制
約6万人

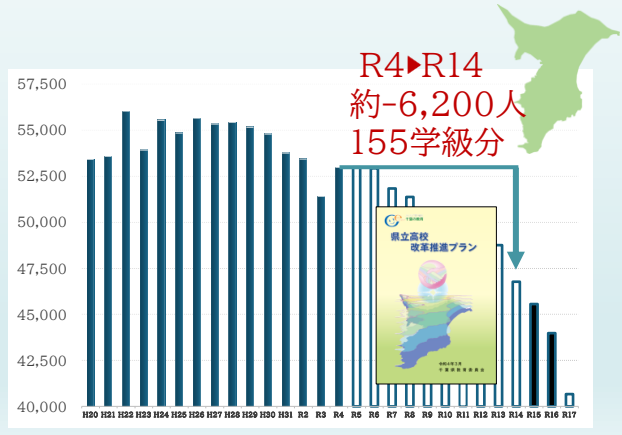
【出典】高等学校教育の在り方ワーキンググループ審議まとめ　参考資料（文部科学省）

16

15歳人口(中学校卒業者)の減少見込み



【出典】高等学校教育の在り方ワーキンググループ審議まとめ　参考資料(文部科学省)
※赤矢印は教育政策課が追加



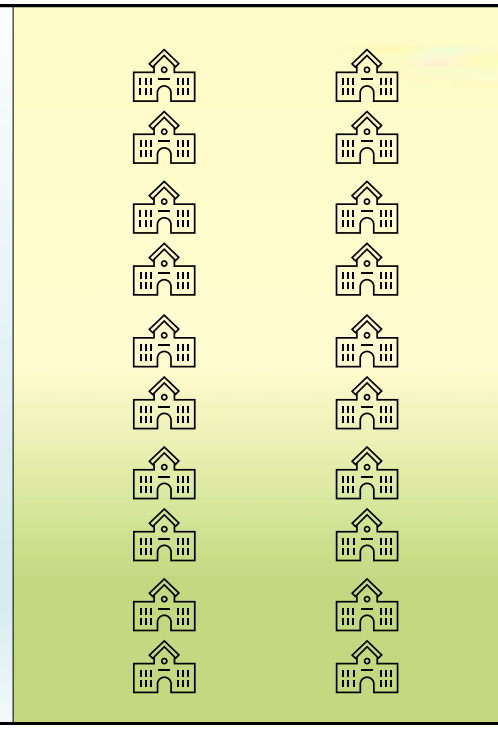
【出典】学校基本調査（文部科学省）及び千葉県年齢別町丁字別人口調査（千葉県総合企画部統計課）を基に令和4年3月に教育政策課にて作成

17

統合の予定

中学校卒業者数の減少
6,200名減　155学級分

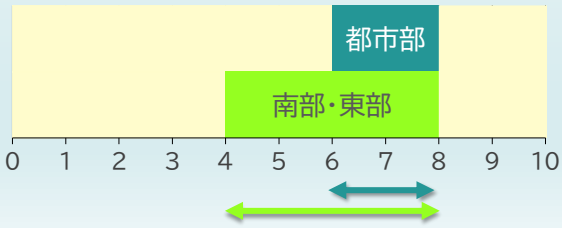
10組程度の統合を予定

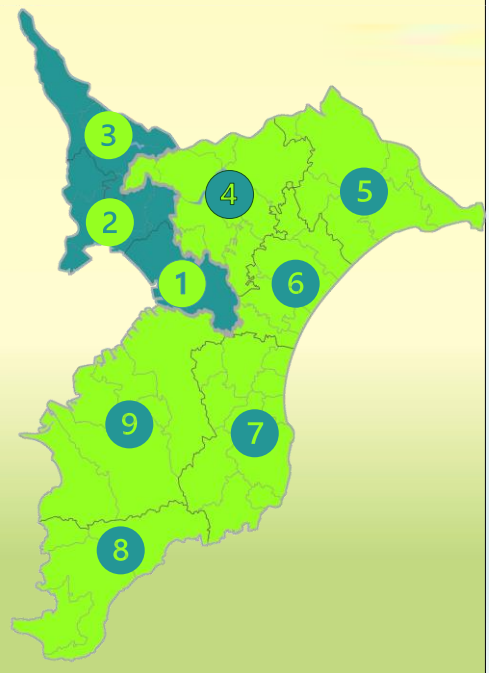


18

都市部と県南部や東部
適正規模

1学年あたりの学級数

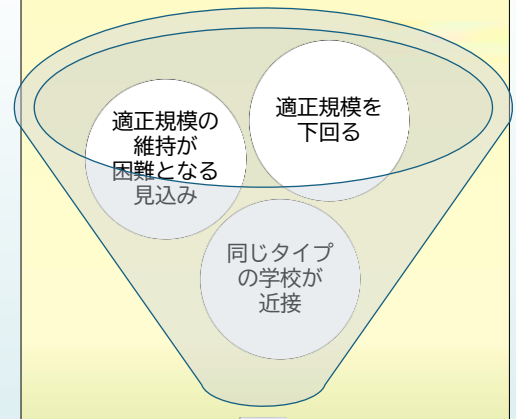




19

都市部
統合の基本的な考え方

1学年あたりの学級数



適正配置を考慮しながら統合
より魅力ある学校への再編

20

４　少子化への対応と多様なニーズに応える新しい学校づくり

対象校	使用校舎
八千代東・八千代西	八千代東

学びの多様化学校（コース制）の設置

普通科6学級募集（想定）のうち、1学級に不登校生徒への支援を図るコース設置
校内サポートルームの設置、遠隔授業のためのICT機器の整備

単位制の導入

両校の取り組みを継承、キャリア形成を踏まえた実践的な学び

21

４　少子化への対応と多様なニーズに応える新しい学校づくり

対象校	使用校舎
船橋豊富・船橋北	船橋豊富

総合学科高校の設置（単位制）

系列設置例（仮称）	
ウェルビーイング系列	情報クリエーター系列
スポーツ科学系列	一般教養系列

新しい学びに係るICT等の最新機器の整備、外壁塗装・トイレ等の改修を実施

22

４　少子化への対応と多様なニーズに応える新しい学校づくり

対象校	使用校舎
沼南・沼南高柳	沼南高柳

フレキシブルスクール（定時制と通信制の併置）

昼間二部定時制高校（午前部・午後部）に通信制の課程を併置（県内初）

定時制：1日4時限を基本　他部履修や定通併修を活用し三年間の卒業も可能
通信制：レポートやスクーリングのオンライン化を推進
施　設：ラウンジの設置、ICT機器の整備、外壁塗装・トイレ等の改修を実施

23

第Ⅱ部の説明へと続きます

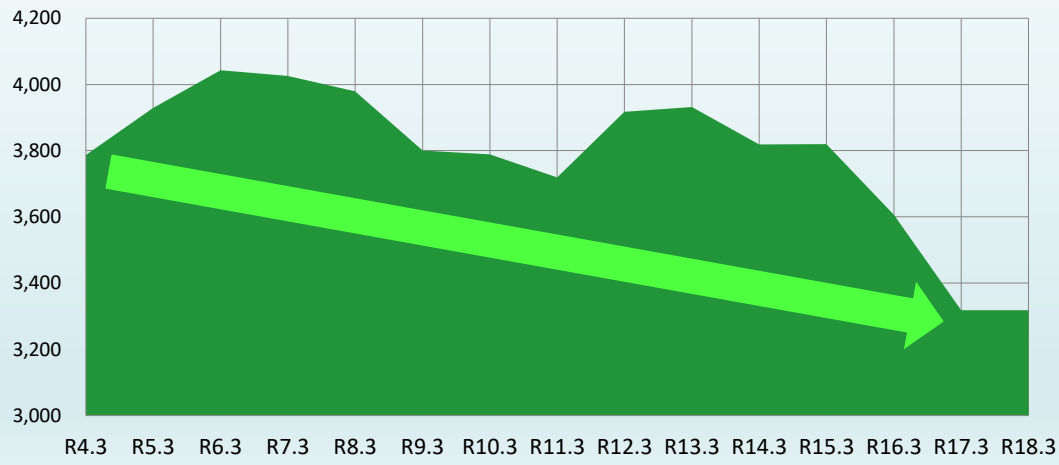
24

第Ⅱ部

沼南高校と沼南高柳高校について

25

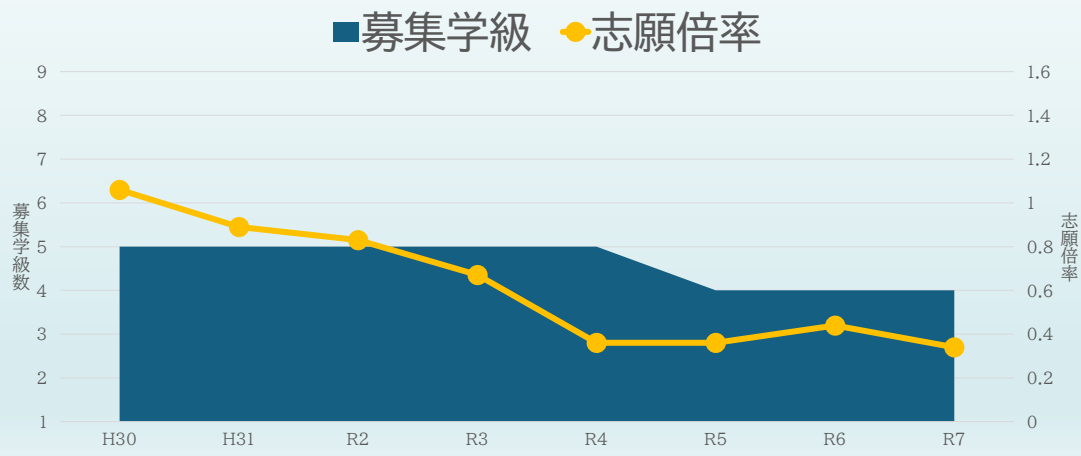
柏市　国公私立中学校卒業者の推移



【出典】学校基本調査（文部科学省）及び千葉県年齢別町丁字別人口調査（千葉県総合企画部統計課）を基に
令和4年3月に教育政策課にて作成

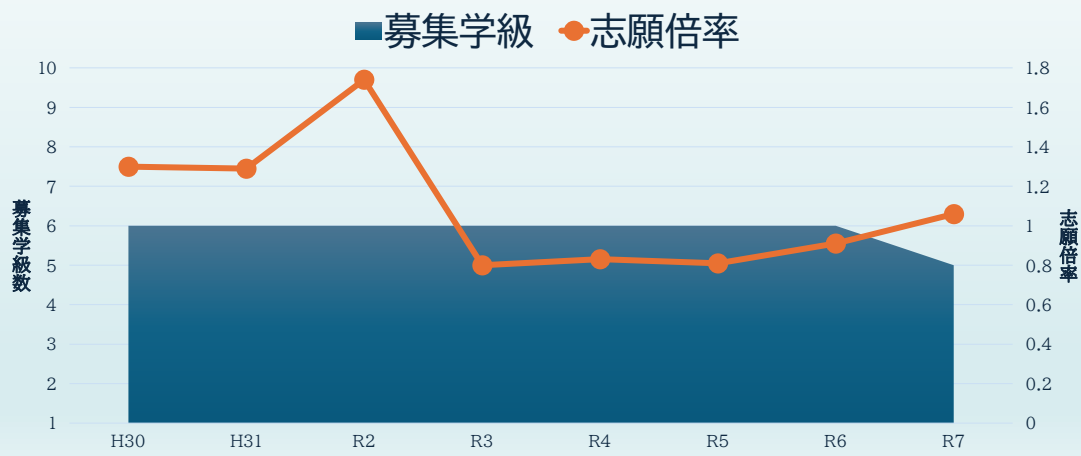
26

沼南高校



27

沼南高柳高校



28

活力ある教育活動を展開するために

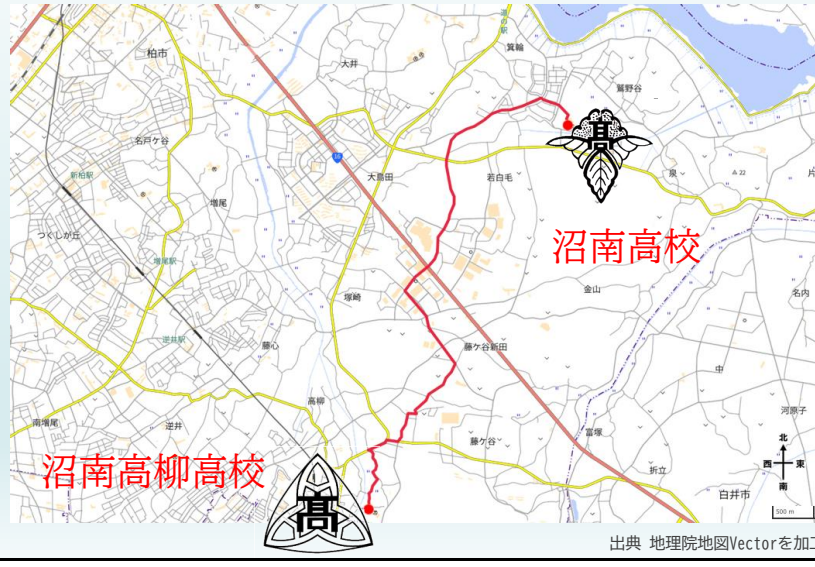
●両校において、都市部における適正規模を下回る
生徒募集にも苦慮

統合により

◎ 教育課程の柔軟な編成や、活力ある教育活動を展開します ◎

29

両校の位置関係



出典 地理院地図Vectorを加工

30

４　少子化への対応と多様なニーズに応える新しい学校づくり

対象校	使用校舎
沼南・沼南高柳	沼南高柳

フレキシブルスクール（定時制と通信制の併置）

昼間二部定時制高校（午前部・午後部）に通信制の課程を併置（県内初）

定時制：1日4時限を基本　他部履修や定通併修を活用し三年間の卒業も可能
通信制：レポートやスクーリングのオンライン化を推進
施　設：ラウンジの設置、ICT機器の整備、外壁塗装・トイレ等の改修を実施

31

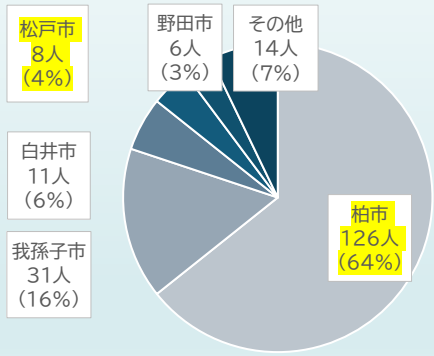
使用校舎の選定にあたり考慮した要素

- 通学の利便性
- 教室数
- 施設設備

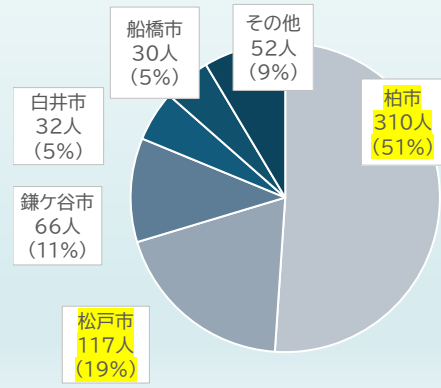
32

どこから通学しているか

沼南高校



沼南高柳高校



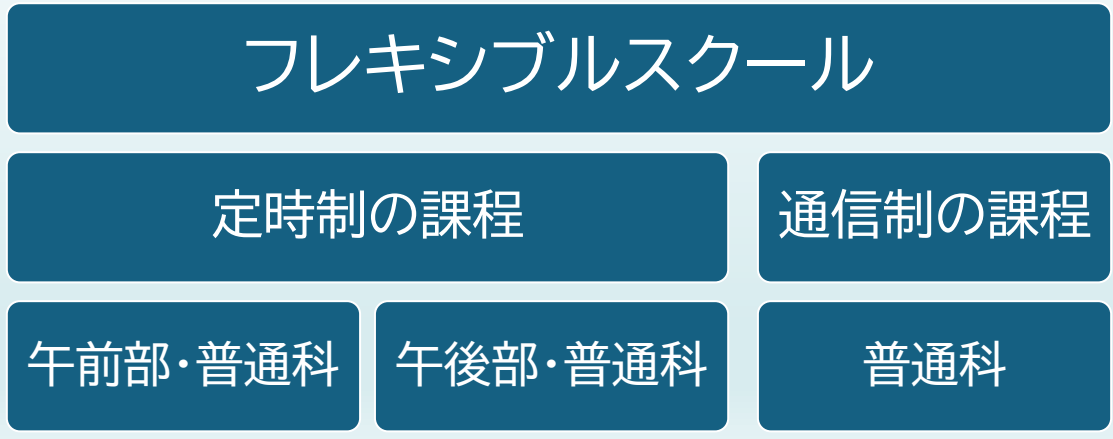
【出典】令和６年度　教育政策課調べ

33

統合校の目指す姿

34

統合校の目指す姿（1）フレキシブルスクール



35

統合校の目指す姿（2）定時制・通信制

定時制の課程

- 昼間二部定時制
  （午前部、午後部）
- 2学期制の導入
  ➡秋期入学、卒業可
- 3年間での卒業も可能

通信制の課程

- スクーリングとレポートの電子化
- 2学期制の導入
  ➡秋期入学、卒業可

36

統合校の目指す姿 ⑶ 教育内容等

- 個別最適な学びの推進
- 共生社会の学び

37

統合校の目指す姿 ⑷ 施設・設備

①外壁塗装、トイレ等の改修

②ICT機器の整備

③ラウンジの設置

38

統合校の目指す姿
⑸ 校名、制服、校章

統合準備室を中心に決定

アンケートを実施、
両校のPTA、保護者会や同窓会等から
意見を聴取

校名決定までのプロセス

アンケート
意見聴取

案策定

県議会にて
決定

39

在校生の皆さまへ

40

卒業する学校

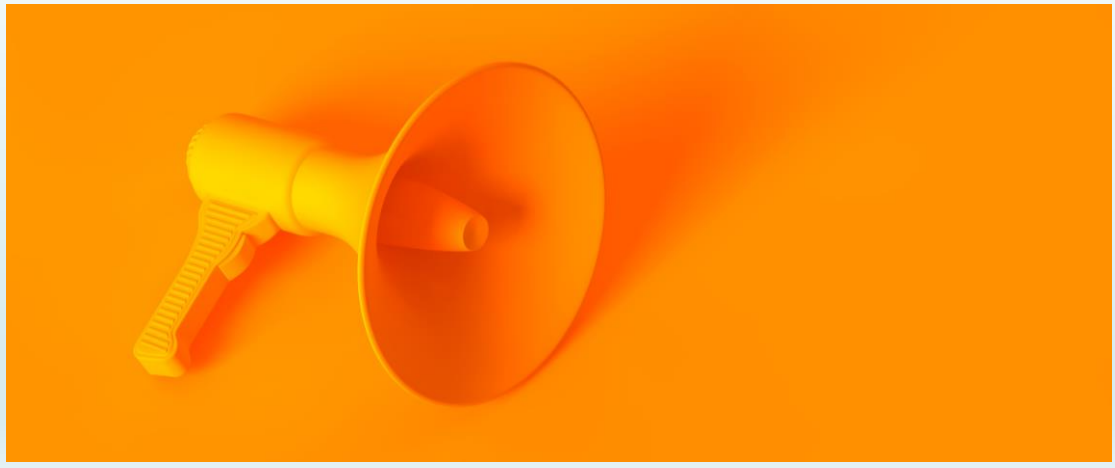
両校の生徒として卒業

令和7年4月入学者は
令和10年3月に
両校の生徒として卒業

証明書発行事務は統合校が
引き継ぎます

41

受検生の皆さまへ



42

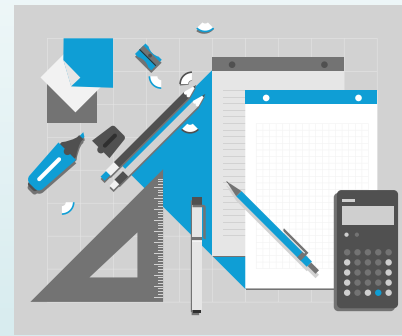
令和8年4月入学生

- 3年生に進級するときに統合
- 3年生の使用校舎は検討中
- 統合前の学校の教育課程を継続
- 統合後の新しい学校の生徒として卒業
- 卒業証明書に旧校名、統合時期等を記載

43

令和9年4月入学生

- 2年生に進級するときに統合
- 2年生、3年生の使用校舎は　検討中
- 統合前の学校の教育課程を継続
- 統合後の新しい学校の生徒として卒業
- 卒業証明書に旧校名、統合時期等を記載



44

令和10年4月入学生

- フレキシブルスクール1期生として入学

45

説明は以上となります。
この後、2点連絡事項を申し上げた後、

質疑応答の時間へと移ります。

46

連絡事項
(1) パブリックコメント

7月25日(金)まで

意見提出様式に記入し、
メール、郵送、FAXにて送付

47

連絡事項
(2) 今後の予定

説明会、パブリックコメントで意見をうかがう

関係団体より意見を聴取

第2次実施プログラムを議案として提出予定

48

ご清聴ありがとうございました

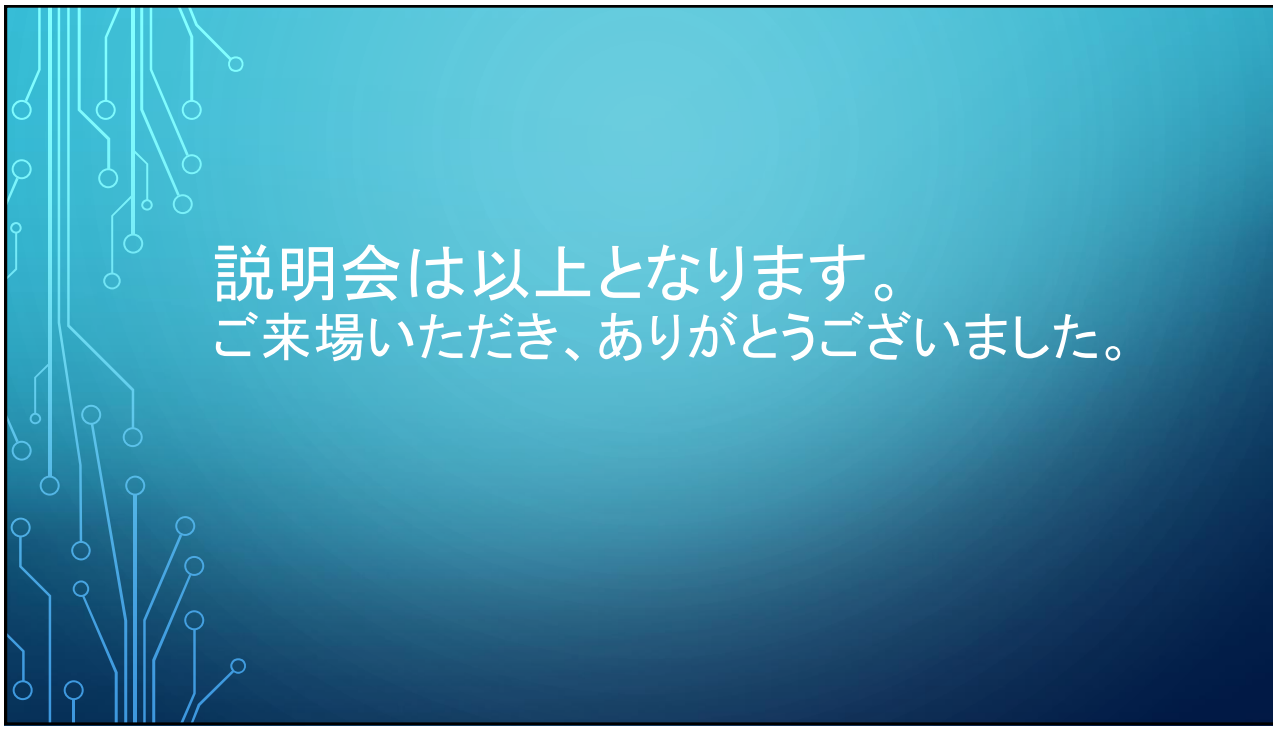
49

質疑応答

ご意見やご質問のある方は、手を挙げてください。

ご発言の前には
お名前
お立場(保護者、地域住民の方など)
をお伝えいただければ幸いです。

50



51